

日陶連ニュース 2026



Japan Pottery Manufacturers Cooperative Association

No.282

編集
発行

日本陶磁器工業協同組合連合会
〒461-0002 名古屋市東区代官町39番18号
URL <http://www.toujiki.org/kyoren>

理事長 伊藤 克紀
TEL(052)935-7231
FAX(052)935-7254

事務局 柴田 成巳
青木 あゆ子
中村 久美子

日本陶磁器工業協同組合連合会 通常総会を開催

新理事長に伊藤克紀氏(岐工連)を選任



日本陶磁器工業協同組合連合会(中野昭雄理事長)は、5月29日(金)、日本陶磁器センターで、令和8年度通常総会ならびに理事会を開催した。

中野理事長は、開会挨拶で「中東紛争によるホルムズ海峡封鎖により原油価格の高騰をはじめ石油由来の製品などにも影響し我々陶磁器業界にとって大きな影響を受けております。日陶連として業界の窮状を国へ要望、働きかけをしていかなければならないと考えております」などと述べた。

総会では、令和7年度の事業および収支決算報告などが行われ、全議案が可決された。

任期満了による役員改選では、日陶連所属の22地区陶工組からの選出により理事、監事を決めた後、理事会において正副理事長の選任が行われ、理事長に伊藤克紀氏(岐工連)が新しく選任された。

また、副理事長は、山本修治氏(愛陶工)、熊本哲弥氏(萬古)、高原誠治氏(信楽)、田中亮太氏(佐賀)、太田一彦氏(波佐見)の5名を再選、矢野仁氏(愛陶工)と藤井健司氏(日陶連)を新たに選任した。



就任のご挨拶

日本陶磁器工業協同組合連合会
理事長 伊藤 克紀

このたびの日本陶磁器工業協同組合連合会の通常総会において、中野昭雄理事長の後任として新たに理事長に選任されました。

昨今の日本経済では、全体として緩やかな回復基調を維持し、経済活動は安定的に推移しており、また賃上げの進展により、雇用・所得環境は改善傾向にあります。ただ、一方では物価上昇の影響により実質購買力の回復は限定的である状況です。

陶磁器業界においては、中東情勢の影響によりLPGをはじめ、石油化学由来の溶剤、陶磁器梱包材などの価格高騰が続き、各産地ともに収益が圧迫されている状況です。また、国内市場では、陶磁器の売り場面積が縮小しているなど厳しい状況が伝えられています。

このような中、成熟した陶磁器業界の更なる発展を考える時、新たな需要の開拓や市場拡大など、それらを実現していく事の難しさや責任の重さを痛感しております。

日陶連としては、組合員の窮状に対する支援、あるいは販路開拓などへの支援ができれば、と考えております。その活動の一環として、自民党の国会議員で構成する、自民党陶磁器文化・産業振興議員連盟に対し業界の現状を伝え、各種支援金の創設などを国に対して要請していきたいと存じます。国とのパイプをより強固なものとし、組合員の経済活動に寄与したいと考えております。

22組合で組織する日陶連として「積極的に活動する」ことを組合員の皆様とともに考え、業界繁栄に繋げて行きたいと思っております。

微力ではございますが、一生懸命務める覚悟です。組合員の皆様には深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

自民党陶磁器文化・産業振興議員連盟 陶磁器業界への支援を要望



業界の状況を説明し支援を求める伊藤理事長

同会合には陶産地を選挙区とする自民党の国会議員と経済産業省、資源エネルギー庁、中小企業庁など行政担当者らも同席した。

伊藤理事長は、陶磁器業界が抱える大きな問題点としてLPGの価格高騰、原料の入手難、陶磁器の輸出、人材確保などについて要望「厳しさが目に見えてきている、積極的な支援を頂きたい」とした。

これに対し、自民党陶磁器文化・産業議員連盟会長の古屋圭司代議士から、陶磁器業界の皆さんが使いやすい支援制度を用意しており、特に「産地ごとの特徴を生かし世界にアピールできるよう働きかけを進めたい」と話した。

また、経済産業省から、陶磁器製品の輸出支援プログラムに加え、設備投資やデジタル化に向けた補助金メニューなどについての説明があった。

古屋会長は「こうした意見交換会は業界の実情を知る絶好の機会であり、今後もこうした会合を開き業界の声に耳を傾けたい」とされた。

自民党陶磁器文化・産業振興議員連盟の総会が6月9日(火)15時から衆議院第1議員会館で開かれた。

日本陶磁器工業協同組合連合会（伊藤克紀理事長）と日本陶磁器卸商業協同組合連合会（鈴木靖治理事長）から役員等22名が出席し、中東情勢の悪化により燃料をはじめ様々な石油化学由来の製品価格が高騰しているなど厳しい状況である陶業界の現状を伝え業界への支援を訴えた。



自民党陶磁器文化・産業振興議員連盟会長
古屋圭司代議士

2026年度 日陶連 国内PL団体補償制度

2026年度の国内PL保険の団体加入者の募集が始まりましたので加入希望の組合員様には、是非お申し込み下さいますようお願いいたします。

1. 基本契約の概要 本制度加入者が、製造・販売した陶磁器および陶磁器関連製品が原因（業務上の事故）で、国内においてケガをさせたり死亡させた事故、他人の物を壊したりする事故の損害に対して保険金（損害賠償金、争訴費用、緊急対応費用、被害者見舞・臨時費用など）を支払います。

2. 保険期間 本年7月1日から翌年7月1日まで（中途加入の場合は、保険料が月割りとなります）

3. 保険料 ご加入タイプと本制度加入者の製品の直近会計年度（1年間）の売上高によって決まります。本制度加入者1社の最低保険料は1,000円。

	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ
支払限度額 (対人・対物共通)	3,000万円 (1事故・保険期間中)	5,000万円 (1事故・保険期間中)	1億円 (1事故・保険期間中)	3億円 (1事故・保険期間中)
仕事の目的物の損壊担保特約 支払限度額 (保険期間中)	1,000万円 (保険期間中)	1,000万円 (保険期間中)	1,000万円 (保険期間中)	1,000万円 (保険期間中)
自己負担額 (対人・対物共通)	なし	なし	なし	なし



一般財団法人日本陶業連盟 松原朝男理事長を再選

一般財団法人日本陶業連盟（松原朝男理事長）は、6月19日(金)、日本陶磁器センターで、定時評議員会および理事会を開催した。

評議員会では、令和7年度の事業および収支決算報告などが行われ、全議案が可決された。また、任期満了による理事・監事・評議員の改選が行われ理事10名と監事2名、評議員8名が選任された。

引き続き行われた理事会では、理事長の改選が行われ、松原朝男理事長が再選された。

【理事長】松原朝男

【理事】矢野 仁、藤井健司、伊藤克紀、井元智之、大井川正城、福浦つづる、横田昌夫、岩間泰之、柴田成巳

【監事】中島鎌一郎、松浦光夫

【評議員】太田一彦、山本修治、高原誠治、横井弘喜、小松孝治、佐藤壮史、安藤春久、渡邊晴彦 ※以上 順不同・敬称略



再任のご挨拶

一般財団法人 日本陶業連盟

理事長 松原 朝男

6月に開催されました一般財団法人日本陶業連盟理事会において理事長に再選され二期目を務めさせていただくこととなりました。これまで同様皆様方のご指導の程よろしくお願い致します。

一般財団法人日本陶業連盟は、名古屋市東区に位置し近代陶磁器産業の総本山として長く日本陶業界の隆盛を支えてきました。

その後、陶磁器業界はドルショック、プラザ合意、バブル崩壊など幾多の苦難を乗り越え現在に至っております。

当財団の公益事業のひとつとして、中部地区において広くリサイクル活動を行う特定非営利活動法人へ、建物の一部スペースを無償貸与することで社会貢献をしております。

また、当財団の所有する日本陶磁器センターが、文化庁の登録有形文化財の指定を受けていることから、歴史的価値の高い建物を公開するイベントにも協力参加しており、近隣では注目度が高く、公益的な団体として認知されております。

当財団としては、こうした活動を通じながら日本の陶磁器産業の振興およびイメージアップにつなげていく所存でございますので宜しくお願い申し上げます。

2026年度全国安全週間スローガン 多様な人材 全員参加

みんなで育てる安全職場
厚生労働省

全国安全週間は、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推

進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

これまで、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。近年の労働災害については、死亡災害は減少傾向にあるものの、休業4日以上死傷災害は2009年以降、増加傾向が継続しています。特に、高齢者を中心に転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害が増加し、また、墜落・転落などによる死亡災害が依然として後を絶たない状況にあります。

例年、作業環境の厳しくなる夏季に労働災害が多発する傾向にあり、7月1日から「全国安全週間」が実施されます。重大災害ゼロを目指し、今一度現場の安全点検を行うなど事業場における安産意識の高揚と自主的な労働災害防止活動の一層の推進を図りましょう。

損保・生保各種お気軽にご相談ください。

日本陶業連盟 災害補償制度

日本陶業連盟 国内PL団体補償制度

担当
代理店

ジェイアイシーセントラル株式会社

〒460-0008 名古屋市中区栄5-28-19 アルティメイトタワー栄Vビル9F

☎ 052-262-2211

✉ infohp@jiccentral.co.jp

> For More Info

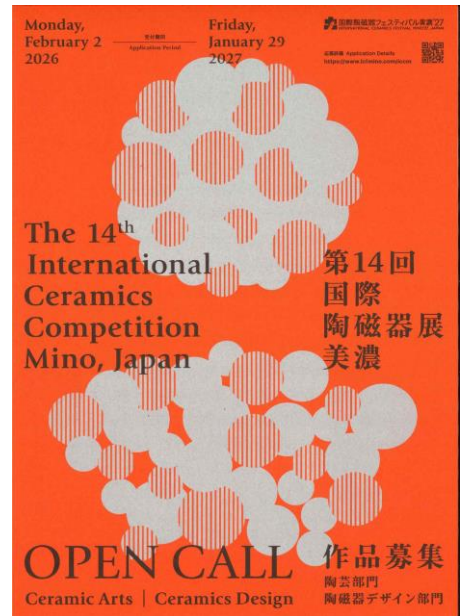


国際陶磁器フェスティバル美濃

国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション 作品募集

2027年10月8日から11月7日の間、岐阜県多治見市東町のセラムックパークMINOで開催される「国際陶磁器フェスティバル美濃」のメイン催事である「第14回国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション」の作品募集が2月2日から始まっている(2027年1月29日受付締切)

同コンペティションの募集部門は「陶芸部門」と「陶磁器デザイン部門」あり、各部門3作品まで応募できる。賞は、グランプリ(賞金500万円)が1点。金賞(同200万円)が1点など。銀賞、銅賞審査員特別賞は両部門それぞれ設けられている。(URL <https://www.icfmino.com>)



国内外の生活用品を一堂に展示する「やきものワールド」の出展募集が始まった。出展料は1ブースあたり209,000円～341,000円で、締め切りは9月18日(金)となっている。

(イベントに関するお問い合わせはやきものワールド出展事務局TEL052-209-6817) 同イベントは今回は20回目となるもの。会場は昨年に引き続き、ポートメッセなごや(名古屋市中港區金城ふ頭)にて開催される。

新日本印刷株式会社
SHINNIHON PRINTING CO., LTD.
本社 〒468-0065 名古屋市中港區中砂町496番地 TEL 052-832-6851(代表) FAX 052-832-6989
S-PRIN EAST(東京支社) 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1丁目1番地 TEL 03-5282-7615 FAX 03-5282-7618
大阪営業所 〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通1丁目2番8号 TEL 06-6809-6601 FAX 06-6809-6602

★業務日誌※開催地記載なしは名古屋市

5月	6月	7月
11日(火)	2日(火)	2日(木)
(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (肥田)	日本電磁器協会 総会	(一財) 日陶連技能評価試験(専門級) (笠原)
12日(水)	4日(木)	8日(水)
日陶協連・(一財) 日本陶業連盟 監査会	自民党陶磁器議連との意見交換会(東京)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (岐阜県)
(一財) 日陶連技能評価試験(専門級) (瑞浪)	(一財) 日陶連技能評価試験(専門級) (岐阜県)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (下石)
(一財) 日陶連技能評価試験(専門・初級) (恵那)	(一財) 日陶連技能評価試験(専門級) (瑞浪)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (下石)
29日(金)	9日(土)	10日(金)
(一財) 日本陶業連盟 理事会	(一財) 日陶連技能評価試験(専門級) (瑞浪)	日本電磁器協会 技術講習会(佐賀県)
日陶協連 理事会・通常総会	(一財) 日本陶業連盟 評議員会	日本電磁器協会 技術講習会(名古屋)
23日(土)	13日(日)	17日(金)
(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)
13日(日)	19日(金)	23日(木)
(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)
12日(火)	25日(木)	27日(土)
(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)
11日(火)	24日(水)	28日(日)
(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)	(一財) 日陶連技能評価試験(初級) (市之倉)

◆お知らせ◆

日陶連ニュース、次号の発行予定は、令和8年8月24日頃です。

